

注目!

緑内障 レーザー治療

第4会場
パシフィコ横浜
会議センター 3F
302



座長のことば

配合剤などの薬剤、レーザー、MIGS と呼ばれる低侵襲治療の選択肢が増えている昨今、選択肢を活かすためにも患者の個々の状況に応じた治療を選択することがますます重要になってきています。LiGHT study の研究結果が公表され、日本でも緑内障の第一選択治療として SLT が有効であるか注目されてきており、また、2017 年から我が国でも施行可能となったマイクロパルスレーザー毛様体光凝固術も普及が広がってきています。

座長
相原 一 先生
(東京大学)

本セミナーでは、緑内障レーザー治療に注目し、3名のエキスパートの先生方より、パターンレーザー線維柱帯形成術 PSLT、マイクロパルスレーザー線維柱帯形成術 MLT、マイクロパルスレーザー毛様体光凝固術 MP-CPC について自験例を含め講演していただきます。まず、野崎先生から PASCAL のパターンシステムを利用した Pattern Scanning Laser Trabeculoplasty (PSLT) の使用経験と SLT との比較をお話して頂きます。杉本先生から IQ577 を用いた MLT の治療成績や症例選択、実際の照射方法など MLT の魅力をお話頂き、最後に安全性の高い MP-CPC について、CYCLO G6 の新型プローブによる治療の手技を藤代先生から講演して頂きます。技術革新を紹介するとともに、それぞれの違いが一挙に分かる参考になるセミナーです。

多くの先生方のご来場をお待ちしております。



野崎 実穂 先生
(名古屋市立大学)

「Pattern Scanning Laser Trabeculoplasty (PSLT) の使用経験」



杉本 宏一郎 先生
(東京大学)

「理解が深まる
マイクロパルスレーザー
線維柱帯形成術」



藤代 貴志 先生
(東京大学)

「新型プローブによる
マイクロパルスレーザー
毛様体光凝固術 (MP-CPC)」